

エコアクション21  
環境活動レポート 2017

対象期間：2017年4月～2018年3月

株式会社 ヤブシタ

発行日：2018年5月11日



## 目次

1. 事業概要	3
2. 対象範囲	4
3. 環境方針	4
4. 環境活動実施体制図	5
5. 環境活動取組み記録	5
6. 中期環境目標	6
7. 環境目標と実績	7
8. 取組み評価と今年度取組み	8
9. 環境活動の取組み内容	9
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	10
11. 代表者による全体評価と見直し	10

## 1. 事業概要

### ● 事業所名及び代表者

#### 【本社】

- 事業所名：株式会社ヤブシタ  
統括代表者名：代表取締役 森 忠裕  
〒060-0006 北海道札幌市中央区北 6 条西 23 丁目 1-12  
TEL：011-624-0021 FAX：011-624-0024  
URL：<http://www.yabushita-kikai.co.jp/>

#### 【グループ会社】

- 事業所名：ヤブシタ総合設計株式会社  
代表者名：代表取締役 巴 敬二  
〒060-0006 北海道札幌市中央区北 6 条西 23 丁目 1-12  
TEL：011-624-0029 FAX：011-624-9912  
URL：<http://www.y-sogo-sekkei.com/>
- 事業所名：ヤブシタエネシス株式会社  
代表者名：代表取締役 森 忠裕  
〒060-0006 北海道札幌市中央区北 6 条西 23 丁目 1-12  
TEL：011-624-0027 FAX：011-624-9911  
URL：<http://www.yabushitaenesys.co.jp/>
- 事業所名：株式会社ヤブシタ製作所  
代表者名：代表取締役 上野 光弘  
〒069-0804 北海道江別市野幌美幸町 30-2  
TEL：011-891-8488 FAX：011-391-8477  
URL：<http://www.y-seisakusho.co.jp>
- 事業所名：ヤブシタ冷熱設備株式会社  
代表者名：代表取締役 岩本 昭男  
〒060-0006 北海道札幌市中央区北 6 条西 23 丁目 1-12  
TEL：011-624-0025 FAX：011-624-0024  
※株式会社ヤブシタ 営業部 工事課が 2018 年 4 月 分社化により設立
- 事業所名：株式会社 R i y 制作室  
代表者名：代表取締役 山崎 ゆかり  
〒060-0006 北海道札幌市中央区北 6 条西 23 丁目 1-12  
TEL：011-624-0029 FAX：011-624-9912  
※2018 年 4 月より設立

弊社は、グループ会社を含めエコアクション 21 環境経営システム活動に取り組んでおります。

### ● グループ事業内容

冷熱関連部材・太陽光発電関連部材の設計・製造・販売  
北海道内のみ施工工事展開

### ● グループ事業規模

2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日  
年商：34 億 1,803 万円  
従業員：60 名（2018 年 4 月 2 日現在）

## 2. 対象範囲

### ● 対象事業所

- ・株式会社ヤブシタ
- ・ヤブシタ総合設計株式会社
- ・ヤブシタエネシス株式会社
- ・ヤブシタ冷熱設備株式会社
- ・株式会社R i y 制作室  
〒060-0006 札幌市中央区北 6 条西 23 丁目 1-12
- ・ヤブシタ函館営業所  
〒040-0065 函館市豊川町 20-5
- ・ヤブシタ東京営業所  
〒108-0014 東京都港区芝 5 丁目 20-9 東化ビル 2F
- ・株式会社ヤブシタ製作所  
〒069-0804 江別市野幌美幸町 30-2

## 3. 環境方針

### 環 境 方 針

株式会社ヤブシタは地球環境に優しく、調和のとれた活動を社員全員で継続的かつ効率的に行い、先進的な製品の開発・販売及び施工を通して、環境負荷低減に努め、循環型社会の構築に貢献する企業を目指します。

### 行 動 指 針

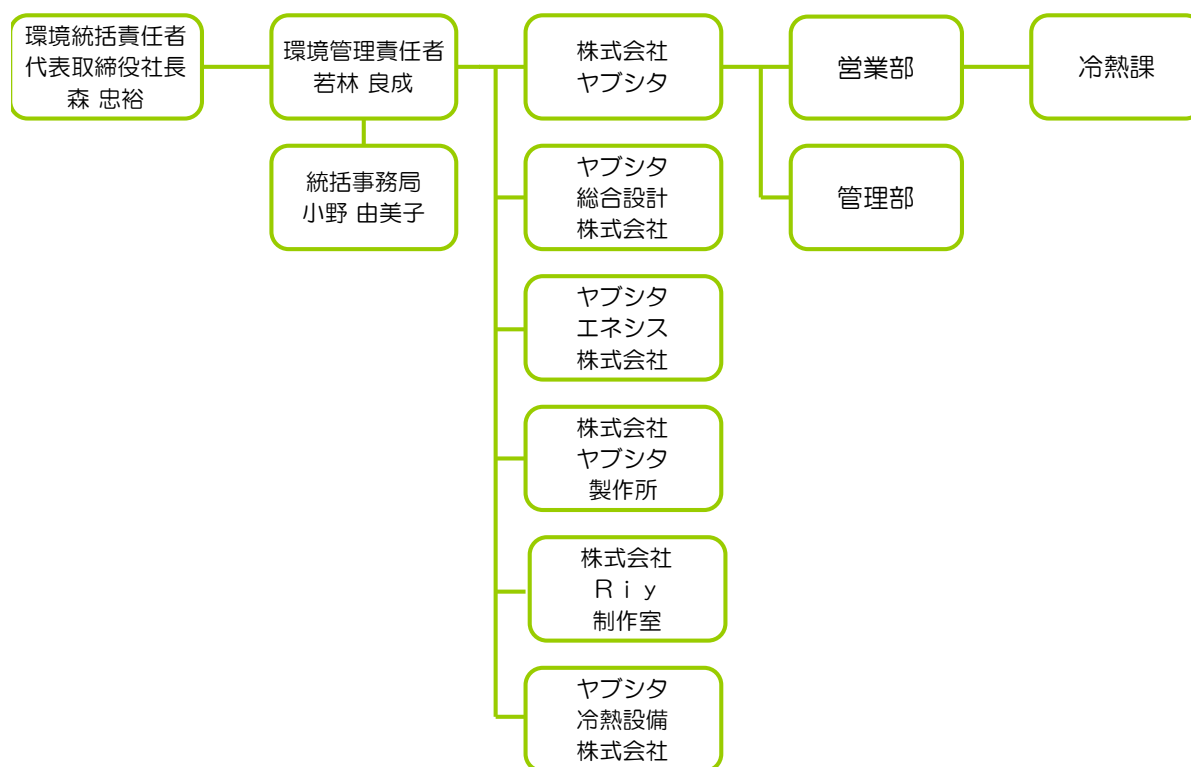
1. 製品及び工事施工は環境負荷低減を図り、省資源・省エネルギー・フロンガスの適正管理並びに廃棄物の削減、分別及びリサイクルの促進に取り組めます。
2. グリーン購入の推進及び有害物質の少ない材料の購入を推進します。
3. お客様に対し、省エネルギー製品・システムの提案活動を積極的に行います。
4. これからの活動を目録管理制度に導入し、継続的に取り組めます。
5. 環境に関連する法規・条例等を遵守します。

制定日：2015年4月1日  
発行日：2015年4月1日  
株式会社ヤブシタ  
代表取締役社長

森 忠裕

## 4. 環境活動実施体制図

### ● 実施体制図



## 5. 環境活動取組み記録

### ● 主な取組み記録

- 2017年4月 成果分析、環境目標、活動計画策定。
- 2018年4月 代表者による全体評価と見直し及び次期へ向けての方針確認。
- 新規エコアクション21 担当メンバー及び中途採用者に対するエコアクション21 教育の実施。
- 環境活動レポート作成。
- 部門毎で月一回の会議を行い、エコアクション21 の情報を共有。  
※部門会議内で前年度実績及び今期環境目標及び活動計画内容に対する一般教育を実施。
- 2017年5月 NPO 法人へのエコキャップ寄贈。
- 2017年8月 ヤブシタ HP へ環境活動内容の追記。
- エコアクション21 担当者会議で進捗確認、課題整理、対策打合わせ。  
(7月・10月・1月・3月)
- 2018年3月 北海道地域エコアクション21 認証、登録10年継続事業者  
記念式典及び記念講演への出席。
- 2018年3月 2018年度 環境活動実施体制の決定。

## 6. 中期環境目標

※2016年実績ベース

項目	単位	2016年 実績	2017年 目標	2018年 目標	2019年 目標
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	341,837	340,000	339,000	338,000
電力使用量	kWh	245,369	244,000	243,000	242,000
液化石油ガス使用量	kg	1,835	1,800	1,790	1,780
灯油使用量	L	6,525	6,000	5,900	5,800
ガソリン・軽油使用量	L	41,772	41,000	—	—
社有車燃費の向上 (ガソリン・軽油使用量)	Km	—	—	※グループ全体 10.45	※グループ全体 11.45
一般廃棄物排出量	t	1.00	0.99	0.98	0.97
コピー用紙使用量	t	1.75	1.74	1.73	1.72
水使用量	m <sup>3</sup>	593	592	591	590
環境配慮商品の販売	台	38,377	38,900	39,400	39,900
グリーン購入品 18品	品目数	18	—	—	—

※ガソリン・軽油使用量は、業務内容で大きく左右されることから2018年度より燃費の向上へと変更し、部門毎による運転者への更なる意識向上も図り設定。

※グリーン購入品は、現状使用物が全てエコ製品に切り替わったことから2017年度の目標から外し維持継続して参ります。

## 7. 環境目標と実績

項目	単位	2016年4月～ 2017年3月	2017年4月～ 2018年3月		目標 達成率
		実績	目標	実績	
二酸化炭素排出量 (前年比 1% 削減)	kg-CO <sub>2</sub>	341,837	338,419	376,219	90.0%
電力使用量 (前年比 1% 削減)	kWh	245,369	242,915	205,673	118.1%
液化石油ガス使用量 (前年実績以下)	kg	1,835	1,834	1,668	110.0%
灯油使用量 (前年実績以下)	L	6,525	6,524	4,642	140.5%
ガソリン・軽油使用量 (前年比 1% 削減)	L	43,536	43,101	45,061	95.6%
一般廃棄物排出量 (前年比 1% 削減)	t	1.001	0.991	1.059	93.6%
コピー用紙使用量 (前年実績以下)	t	1.751	1.750	1.721	101.7%
水使用量 (前年実績以下)	m <sup>3</sup>	593	592	557	106.3%
環境配慮商品の販売 (前年比 2% 増販)	台	38,377	39,145	54,583	145.1%

使用した北海道電力の二酸化炭素排出係数：0.683kg-CO<sub>2</sub>/kWh（平成 26 年度）

化学物質使用量の削減につきましては、当社の製品は屋外設置のため塗膜に対候性などの堅牢性を厳しく要求されています。

そのため塗膜の薄膜化や堅牢性の弱い水系塗料を使用することは困難です。

但し、当社の品質要求に適合出来る水系塗料の開発動向は注視していきます。

## 8. 取組み評価と今年度取組み

取組み項目	評価	2018 年度取組み
電力 使用量の削減	前年比 19.3% 削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤブシタ製作所ファイバレーザ入替えによる電力削減影響大。</li> <li>・不要箇所の消灯については、各部門での意識付が浸透してきたが、稀に換気扇の消し忘れもあるので継続し呼びかけ等を行う。</li> </ul>	前年実績 205,673kWh 以下 <ul style="list-style-type: none"> <li>・換気扇止め忘れ防止の徹底。</li> <li>・不要場所の照明消灯の徹底。</li> <li>・冷暖房機設定温度の徹底。</li> <li>・離席時、PC モニター電源 OFF の徹底など。</li> </ul>
灯油 使用量の削減	前年比 40.5% 削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤブシタ製作所梱包工程の暖房をジェットヒーターから電気式ヒーターへの変更。</li> </ul>	前年実績 4,642L 以下 <ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な範囲での防寒対策の推進。</li> </ul>
ガソリン、 軽油 使用量の削減	前年比 3.5% 増加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容により大きく左右され前年は販売数増加に伴い移動等が多く使用量の増加となった。</li> <li>※走行距離：72,278km 増加</li> <li>・ドライブレコーダーの標準化。</li> </ul>	使用量から部門単位での燃費の向上へ変更。 グループ全体としては、 前年実績 10.44km 以上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・急発進をしない等のエコドライブの推進。</li> <li>・燃費の悪い人への注意喚起。</li> <li>・オイル交換やタイヤ空気圧などの日常点検の推進など。</li> </ul>
一般廃棄物 排出量の削減	前年比 5.8% 増加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・函館営業所や札幌本社 3F 倉庫整理における不要物排出により増加。</li> <li>・緩衝材再利用の推進。</li> </ul>	前年実績 1.059t 以下 <ul style="list-style-type: none"> <li>・緩衝材再利用の推進継続。</li> </ul>
水 使用量の削減	前年比 6.3% 削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所での人員減少による使用量削減。</li> <li>・節水意識は定着しつつある。</li> </ul>	前年実績 557m <sup>3</sup> 以下 <ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い時における節水の徹底。</li> <li>・こまめな水出し使用。</li> <li>・節水意識の維持、向上。</li> </ul>
コピー用紙 使用量の削減	前年比 1.7% 削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・裏紙再利用や両面コピーの意識向上。稀に両面コピーされていない場合もあるので呼びかけを行う。</li> <li>・情報文書の回覧や電子ファイルの活用。</li> </ul>	前年実績 1.721t 以下 <ul style="list-style-type: none"> <li>・両面コピーの徹底。</li> <li>・会議資料の削減強化。</li> <li>・電子ファイルの共有化の推進。</li> <li>・各部門毎での使用量の把握。</li> </ul>
環境配慮商品 の販売	前年比 42.2% 増販 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防雪フード：39.8%増。</li> </ul>	前年比 2% 増販 ※+1,092 台 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京営業所の体制強化。</li> </ul>



## 9. 環境活動の取組み内容

### ● 二酸化炭素排出量の削減

環境目標	取組内容	実施詳細
電力使用量	照明の節電	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昼休みや不要（使用していない）場所の消灯</li> <li>・ 温度設定 夏 26℃、冬 23℃</li> <li>・ 17時 30分 スイッチ OFF 設定</li> <li>・ クールビズ・ウォームビズ</li> <li>・ 冬期間の暖房タイマー設定の徹底</li> </ul>
	冷暖房の節電	
	その他節電	
ガソリン、軽油 使用量	エコ運転・運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車時のアイドリングストップ</li> <li>・ 燃費の把握</li> <li>・ タイヤ空気圧の定期点検</li> <li>・ オイル交換の管理</li> <li>・ 法定速度の遵守</li> <li>・ ドライブレコーダーの点数評価</li> <li>・ 車入替時の低燃費車への推進</li> </ul>

### ● その他

環境目標	取組内容	実施詳細
一般廃棄物の削減	ゴミの分別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 可燃、不燃、ペットボトル、缶分別</li> <li>・ コピー用紙裏面使用</li> <li>・ 会議資料（裏紙、両面コピー、電子ファイル）</li> <li>・ 図面・見積はメールでやりとりする</li> <li>・ マイ箸の推進（割り箸購入しない）</li> <li>・ エコキャップ、缶リングプルの収集、寄贈。</li> </ul>
	資源使用量削減	
産業廃棄物の リサイクル	適正管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物管理表による適正管理</li> <li>・ リサイクル業者に依頼する</li> <li>・ 緩衝材の再利用</li> </ul>
水使用量	節水意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水をだしたままにしない</li> </ul>
エコ商品の販売拡大	販売拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防雪フード、サンシェード等</li> </ul>
環境配慮商品購入	エコラベル、 グリーン購入法適合品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市販事務用品は全て実施（継続） 維持継続の推進</li> </ul>
環境活動の告知		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境活動レポートの HP への掲載</li> <li>・ 会社案内に記載</li> </ul>
社会貢献		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会社周辺の清掃</li> <li>・ 工事現場周辺のゴミ拾い</li> </ul>

## 10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の違反、訴訟等はありませんでした。  
また、関係当局より違反の指摘はありませんでした。

## 11. 代表者による全体評価と見直し

### ● 全体評価と見直し

54期(2017年4月～2018年3月)環境活動計画について

- 環境目標に対する成果としては、達成5項目、未達成3項目と53期比では達成2項目増。
- 二酸化炭素、一般廃棄物排出量、電力、ガソリン・軽油、水、コピー用紙等の使用量は環境目標として頭打ち状態に近い事から、前年実績以下を目指し維持継続とする。
- 環境主目標としては、業務状況に影響されない項目とし、各部門での取り組み活動に対する意識付けの更なる向上を図れる項目に絞り55期目標の設定を行う。  
※ガソリン・軽油使用量から事業所・部門単位による燃費の向上へ変更。  
※コピー用紙の使用量も各部門単位での集計を推進し、次期の活動へ繋げる。
- 環境配慮商品の販売は、54期同様に前年比2%増とする。
- 環境経営システムは現状維持とし、来年度の建設業ガイドライン2017年版改訂を踏まえ、必要に応じ運用手順や様式などの見直し変更を推進する。

